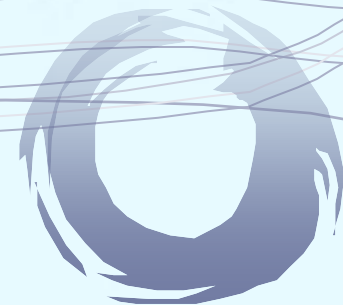


# 平成27年度決算における 財務状況について

2017.3.2



# 財務書類

(単位：百万円)

貸借対照表	
現金預金※ 862	負債 12,328
資産 43,904	純資産 31,576

※現金預金には歳計外現金(預り金)を含むため、  
資金収支計算書の残高とは一致しません

資金収支計算書	
業務支出 9,137	業務収入 9,918
投資活動支出 1,678	投資活動収入 763
財務活動支出 699	財務活動収入 1,010
期末資金 672	期首資金 495

行政コスト計算書	
業務費用 5,362	経常収益 436
	臨時利益 16
移転費用 4,947	純行政コスト 9,956
臨時損失99	

純資産変動計算書	
純行政コスト 9,956	税金等 7,430
	国県等補助金 2,433
	その他増減 -8
純資産 31,576	期首純資産 31,677

## ● 貸借対照表

資産：町が有している全ての財産

負債：町債や職員の退職引当金

純資産：過去～現世代の拠出財産

## ● 行政コスト計算書

民間の損益計算書に類するもので、  
行政サービスなどの総コストを表す

※資産形成に係るものは含まない

## ● 純資産変動計算書

拠出財産(=町の正味財産)

純資産が年間にどの様に増減したかを  
表すもの

## ● 資金収支計算書

年間の歳入と歳出がどの様に増減した  
かを性質別に区分したもの

業務収支(支払利息を除く)と投資活動  
収支合算額がプライマリーバランスとなる

# 茨城町の財政状態 I

- 純資産比率：71.9%

町が有する資産のうち、純資産に相当する部分は過去および現役世代の負担によるもの、負債の部分は将来世代の負担により返済すべきものとして考えます。

将来世代の負担を過重にしないためにも70%を上回り、より高い方が良いとされています。

- 住民一人当たり資産額：132万5千円

- // 負債額：37万2千円

資産額・負債額を住民基本台帳人口で除して住民一人当たりの指標とすることにより、住民にとってわかりやすい情報となるとともに、他市町村との比較が容易となります。

住民一人当たりの資産額は132万5千円で、負債額の約3.6倍の資産を保有しています。

- プライマリーバランス：▲0.3億円

マイナス値となっているものの、赤字額は年々減少しています。

公共投資の大部分の財源は地方債で賄われるため、多額の公共投資が行われた場合には、マイナス値となる傾向がみられます。

(単位：億円)	H24	H25	H26	H27
プライマリー バランス	▲9.7	▲3.2	▲2.1	▲0.3



# 茨城町の財政状態 II

- 住民一人当たり行政コスト：298千円

類似団体との比較により、行政活動の効率性を測定することが可能となります。

今後の少子高齢化時代に向けて効率的なコストコントロールを図ると同時に、必要な事業に対して最適な投資を行っていくことが求められます。

住民一人当たり（千円）	H27
純経常行政コスト	298
人件費	69
物件費等	87
移転費用	149

- 有形固定資産減価償却率：53.1%

有形固定資産について、一定の耐用年数により減価償却を行った結果として、資産の取得からどの程度経過しているかを全体として把握することができる指標です。

公共資産の老朽化と新規投資あるいは更新投資のバランスを重視しつつ、そのための資金の確保と更新時期を把握することが安定的な行政経営に不可欠であると考えます。